

第4回 エコーハンズオン

ナースのための実践トレーニング

～4時間で即戦力！実践重視のエコー研修～

エコーは非侵襲的でリアルタイムに患者の状態を評価できるツールとして、医療現場でますます重要になっています。特に看護師がエコーを活用できるようになることで、迅速な判断と適切なケアが可能になり、患者の安全性や快適性が向上します。救急や集中治療の現場では、肺エコーを用いた肺水腫や気胸の評価、IVCエコーによる循環状態の確認が必要となります。病棟や在宅医療では、膀胱エコーによる尿閉の判断や、血管エコーを用いたルート確保が、患者の負担を軽減し、よりスムーズなケアにつながります。

看護師がエコーを活用する意義は、医師の診断を補助するだけでなく、日常的なケアの質を向上させることにあります。しかし、プローブの当て方や画像の見方に自信がないと、活用が難しいのも事実です。この研修では、とにかく実技を重視し、少人数制のハンズオン形式で、確実に習得できる環境を整えています。

4時間の集中トレーニングで、現場で即活用できるエコースキルを身につけましょう。

【開催場所】小倉記念病院 4階会議室（802-8555 福岡県北九州市小倉北区浅野 3-2-1）

【開催日時】2025年6月21日（土）13:00～17:00

【対象】エコー初心者の看護師（救急・集中治療・病棟・在宅関係の看護師も歓迎！）：**募集人数 10名**

【受講料】8,000円（配布資料込み）

【申し込み】

申し込みはこちらから→[エコー受講申込み](#) QRコードからの申し込み 



***先着順：定員に達した場合または6/7（土）〆切り**

当日の研修スケジュール

時間	内容	学習ポイント
9:00 - 9:10	イントロダクション	研修の目的・流れ説明
9:10 - 9:30	エコーの基本	プローブの種類・持ち方・設定、画像の調整（深度・ゲインなど）
9:30 - 10:00	肺エコー（Lung POCUS）	B-line、A-line、肺スライディング、胸水評価
10:00 - 10:10	休憩（10分）	-
10:10 - 10:50	IVCエコー（循環評価）	IVC径の測定（循環動態の評価）
10:50 - 11:30	心エコー（基本断面の描出）	胸骨左縁長軸・短軸像、心尖部アプローチ、心窩部アプローチ
11:30 - 11:40	休憩（10分）	-
11:40 - 11:50	心エコーの異常所見確認	スライド解説 & 配布資料（左心機能低下・心嚢液貯留・肺塞栓）
11:50 - 12:10	膀胱・腎エコー（排尿・水腎症評価）	膀胱容量の測定、水腎症の評価
12:10 - 12:50	血管エコー（穿刺技術）	短軸・長軸での動静脈評価、エコーガイド下穿刺練習（デモ機）
12:50 - 13:00	まとめ & 質疑応答	振り返り、アンケート

講師：藤崎隆志（小倉記念病院 救急看護認定看護師/特定行為研修修了者）・園田拓也（小倉記念病院 急性・重症患者看護専門看護師）

【お問い合わせなど】

CNLS 代表・事務局 小倉記念病院 藤崎隆志
(E-mail: takasihujisaki@yahoo.co.jp)

CNLS WEB サイト
<https://cnls2021.design>

